

月事以時下故名之曰血室又曰凡人之生唯氣爲先故又名爲氣海然而名雖不同而實則一子宮耳子宮之下有一門其在女者可以手探而得俗人名爲產門

〔夜船閑話〕漆園曰く真人の息は是を息するに踵を以てし衆人の息は是を息するに喉を以てす許俊が云く蓋し氣下焦に在る則は其息遠く氣上焦に有る則は其息促まる上陽子が曰く人に眞一の氣あり丹田の中に降下する則は一陽また復す若人始陽初復の候を知らむと欲せば暖氣を以て是が信とすべし大凡生を養ふの道上部は常に清涼ならん事を要し下部は常に温暖ならん事を要せよ